

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	WMB 3 ウエポンオブマスバイアス 3	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.533	△RG	0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 3/4 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：WMB2

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

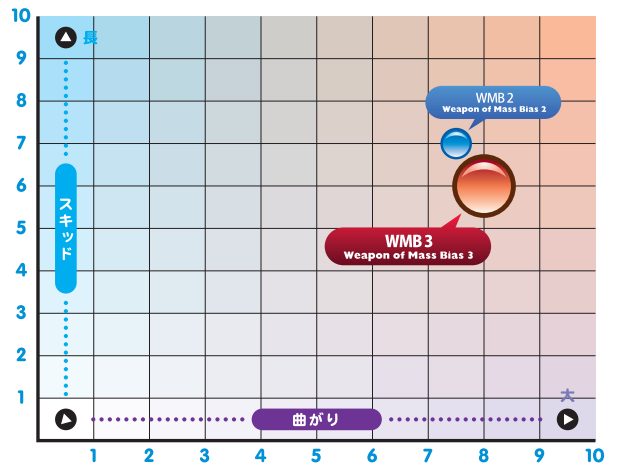
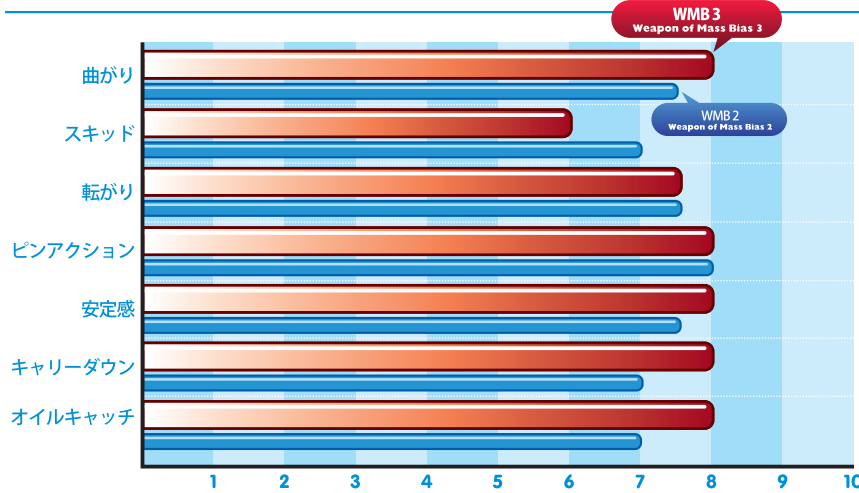
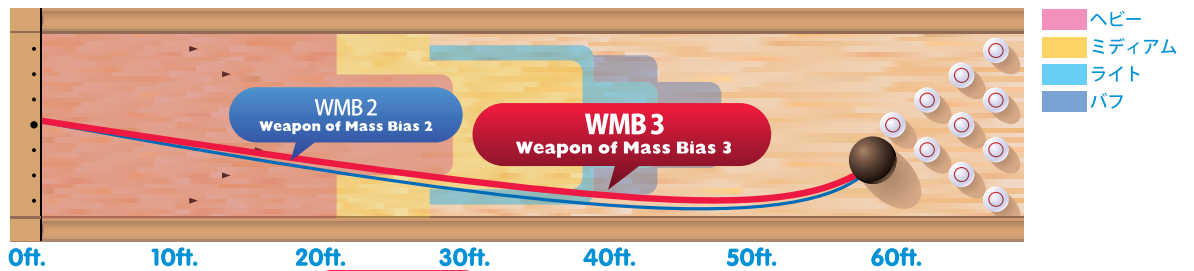
ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 3/4 インチ

研磨剤

番



ボールの評価

このWMB 3はULTIMATE HYBRIDカバーストックとバンガードコアの組み合わせでWMB 2よりもスキッド感は短く感じ、手前からの強いキャッチ力を感じる。WMB 2との投げ比べにおいてもリアクティブ感のあるバックエンドリアクションを強調したスベックではなく、よりオイル上での安定したリアクションを求めたボールといえるでしょう。今までのモーリッチ社のリアクティブ素材はどちらかというと転がりの中にも心地よいスキッド感を持ち、反応の良いバックエンドリアクションを兼ね備え、メリハリを感じるボールが多かったのですが、このWMB 3のULTIMATE HYBRIDカバーストックはリアクティブ素材でもキャッチ力の強いカバーストックを使用しているため、厚いオイル上での安定した曲がりとパフォーマンスを供給することにその目的をおいています。投球したイメージは、このWMB 3はミッドエリアからの強いキャッチ力とモーションポテンシャルを感じるので、今までのモーリッチ社のようにドライゾーンからの戻すライン取りをするボールではなく、特にミッドエリア付近でオイルを感じすぎているときやキャリアダウンしているコンディションでその性能を発揮できるボールと思いました。逆にオイルが薄いコンディションや薄いエリアに早めにあててしまうとキャッチ力で軸移動が終わってしまい、リアクションのイメージが取りづらくなってしまいます。それだけキャッチ力と軸移動が高いレベルで完成されているということでもあり、よりオイルを多く使用し投球しなければいけないということになるでしょう。

特記事項

厚いオイル上を完成度の高いキャッチ力と軸移動をするこのWMB 3。オイルを感じすぎたり、キャリアダウンしているコンディションで是非お試しください。